

ノリ糸状体情報 第2号

平成 26 年 8 月 12 日
福岡県水産海洋技術センター
有明海研究所

1. 糸状体の生育状況

8 月上旬の検鏡結果では、胞子のうの形成割合は平均で 6 ~ 7 割と、概ね平年並みに推移していました。

2. 病害・障害

現在までのところ、病害は確認されていませんが、一部で軽度の生理障害が認められています。生理障害の主な原因は、照度不足、高水温や低比重などによるものですので、培養条件の再確認を行ってください。

3. 今後の管理

8 月に入ってから曇りや雨の日が続いており、照度不足になりやすい状況です。天候に合わせて明るさをこまめに調整してください。

また、水温の日中の上がり過ぎや朝晩の冷え込みに注意しながら、培養場の特性にあったこまめな管理を行ってください。

水 温：25 ~ 28℃を保ってください。

照 度：照度不足は生理障害の原因となり、また熟度も進みやすくなります。平面培養は 500 ~ 800 ルックス、垂下培養は 1,000 ~ 1,500 ルックスを目安に、明るめに調節してください。

比 重：現場比重で 21 ~ 22 を目安にしてください。差し水は定期的に行い、蒸発して減った分だけ水道水を入れてください。

水 換 え：盆頃を目安に最後の水替えを完了してください。その後は熟度調整の時期になるまで水換えは行わないでください。

栄 養 剤：最後の水換え時に規定量しか入れていない水槽は、規定量を追加して、合計で 2 倍量にしてください。